

農家が儲かるJAを目指せ!

JA福井市混乱の役員改選 既存路線をひた走る!

今春、JA福井市の3年に一度の役員改選が行われた。役員定数(経営管理委員)が28名から18名に改正削減され、その過半数は認定農業者(法人)にあってはその役員)であることが農協法に定められたため9名の認定農業者が経営管理委員に選ばれた。

その後の会長選は稀にみる混戦となり、3日間をかけた既存路線派と改革派が争い4月29日ようやく決まった。経営管理委員会会長に寺井敏高氏、副会長に北川信介氏、代表理事理事長に豊岡英二氏、

信用共済担当常務理事に加藤久明男氏、指導経済担当常務理事に片川正美氏を選んだ。JA福井市の正組合員の中で認定農業者は165名。

既存派と改革派に分かれ決まらぬ会長選

3月25日、第22回JA福井市通常総会が本店大ホールにおいて午前9時より開かれた。今回の総会は経済事業の一部分社化や不祥事件に対する再発防止策など重要議題が並ぶ中、JAトップ、経営管理委

本年度産のコメから減反優遇が廃止され、コメ農家が享受してきた既得権益が消失する。農家に寄り添い経営力のあるJAと金融事業に依存するJAの二極化が進む中、県下最大のJA福井市は今春、既存路線派の新会長を選出した。一方、福井県五連の田波会長は県下12JAの統合、一本化を進める。競争時代に突入した今、農家が生き残れるためにJAは何をすべきか、重大な岐路に立たされている。

(発行人：稲井捨信)

員会会長に誰が就くのか、注目を集めた。

3年に一度の総会で役員全員任期満了に伴い経営管理委員18名、監事4名を選任する。すでに候補者が名前を連ねていて過不足なく全員新役員に選ばれ、新役員によるJAトップを決める理事会が開かれた。

東・西・南・北地区と中央地区の各3名と美山地区1名

の経営管理委員16名、この中から会長を選出する。会長選に東部の林世治氏と北川信介氏、南部の寺井敏高氏の3名が立候補し6ブロックの代表による代表者選考を行い4票とれば決まるのだが決められず、再度4月の27日の金曜日から29日の日曜日午前中にかけて新会長選びが行われた。今回、ブロック代表の6票が3対3に分かれたため役員